

宮城県感染症発生動向調査情報

平成30年10月11日発行

— 2018.10.1～2018.10.7 — 第40週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第37週	第38週	第39週	第40週
水痘	2 0.40	3 0.30	2 0.40			2 0.40	2 1.00	9 0.33	20 0.34	890				
流行性耳下腺炎	2 0.40							2 0.07	4 0.07	185				
感染性胃腸炎	29 5.80	14 1.40	13 2.60	10 5.00	20 6.67	13 2.60		89 3.30	188 3.19	10,589	◎	◎	◎	◎
手足口病	19 3.80	10 1.00	28 5.60	7 3.50	3 1.00		3 1.50	35 1.30	105 1.78	1,822	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑		13 1.30	2 0.40		1 0.33	2 0.40	4 2.00	125 4.63	147 2.49	969	◎	◎	◎	◎
突発性発しん		1 0.10	2 0.40	1 0.50	2 0.67	3 0.60	2 1.00	12 0.44	23 0.39	1165	レ	○	○	レ
ヘルパンギーナ	2 0.40	5 0.50	10 2.00	4 2.00	1 0.33	3 0.60	11 5.50	39 1.44	75 1.27	3,159	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ								23 0.52	23 0.24	34,046				
咽頭結膜熱		1 0.10		2 1.00		2 0.40		6 0.22	11 0.19	880				
流行性角結膜炎		2 0.67							2 0.17	137				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20 4.00	18 1.80	2 0.40			19 3.80		35 1.30	94 1.59	6,249	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	5				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎				1 1.00					1 0.08	130				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	21 4.20	9 0.90	1 0.20	4 2.00		2 0.40		33 1.22	70 1.19	2,088	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	31				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1		3					5					
	川崎病								2		◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	不明発しん症								5					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 男性1名
仙台管内 女性2名
結核(無症状病原体保有者)
仙台管内 男性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

塩釜管内 女性1名(第32週)
石巻管内 女性2名
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
仙台管内 男児1名*
腸管出血性大腸菌感染症(O不明)
登米管内 女性1名、男児1名*

4類感染症: 報告なし

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名
侵袭性肺炎球菌感染症
石巻管内 女性1名
仙台管内 男性1名
梅毒
塩釜管内 男性1名
登米管内 男性1名
水痘(入院例)
仙台管内 男性1名
破傷風
仙台管内 女性1名
風しん
仙台管内 男性1名

※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]

仙南管内で警報レベルを継続中です。
栗原管内で警報レベルを継続中です。
大崎管内で警報レベルを超えました。

[伝染性紅斑]

気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
仙台管内で警報レベルを継続中です。

[ヘルパンギーナ]

栗原管内で警報レベルを継続中です。
気仙沼管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

石巻管内 第40週採取分 O157 2件
登米管内 第40週採取分 O157 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第37週採取分 (9.10～9.16)	第38週採取分 (9.17～9.23)	第39週採取分 (9.24～9.30)
RSウイルス	3件	2件	1件
エンテロウイルス	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	3件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	1件	0件	0件

4. 今週のコメント

【伝染性紅斑】

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19を病原体とし、幼児や学童を中心にみられる流行性の発疹性疾患です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」とよばれることもあります。感染後は無症状の時期からウイルス排泄があり、紅斑出現の時期にはほとんど感染力がないのが特徴です。第35週頃から患者報告数が増加し、仙台、気仙沼管内で警報レベルを超えていましたが、今週は仙台管内の患者数が非常に多くなっていますので、今後の動向に注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

